

令和5年度 国有林モニター現地説明会を開催

令和5年11月28日、東濃森林管理署管内において、12名の国有林モニター参加のもと、現地説明会を開催しました。

国有林モニターの任期は2年となっており、昨年度は木曽森林管理署管内において、森林整備や木材生産等についての現地説明会を開催しました。今年度は、治山事業と国有林の利用について説明を行い、昨年と違う視点で国有林野事業について理解を深めていただきました。

○1、2 治山事業地を見学！

湯舟沢国有林で実施している猿沢治山事業地の見学をしました。この治山事業地は、山腹工を大正14年から、溪間工（治山ダム）を昭和13年から実施しています。今回は、国土強靱化に向け実施している溪間工の施工状況を見学し、治山事業の目的や効果について説明しました。



猿沢治山事業地見学

かしも^{かしも}うらき^{うらき}そ^そ 加子母裏木曽国有林では、五色沢^{ごしきさわ}治山事業地の大規模な山腹崩壊の復旧状況の見学を行いました。この治山事業地に隣接する広葉樹林は昭和50年代に山腹工を実施し、林地として復旧しており、現在の施工地と比較しながら、崩壊地が森林に回復する経過等について説明しました。



五色沢治山事業地を遠望から見学

3 Google ストリートビューで仮想的に国有林を散策！

東濃森林管理署の会議室では、東濃署が取り組んでいる「国有林見どころビューマップ」等の Google ストリートビューを活用した国有林の利用の推進について説明しました。Google ストリートビューを活用することで、世界中のユーザー、高齢者や傷病者など、国有林に足を運ぶことが困難な方も、国有林の優れた景観を鑑賞できることなどを説明しました。



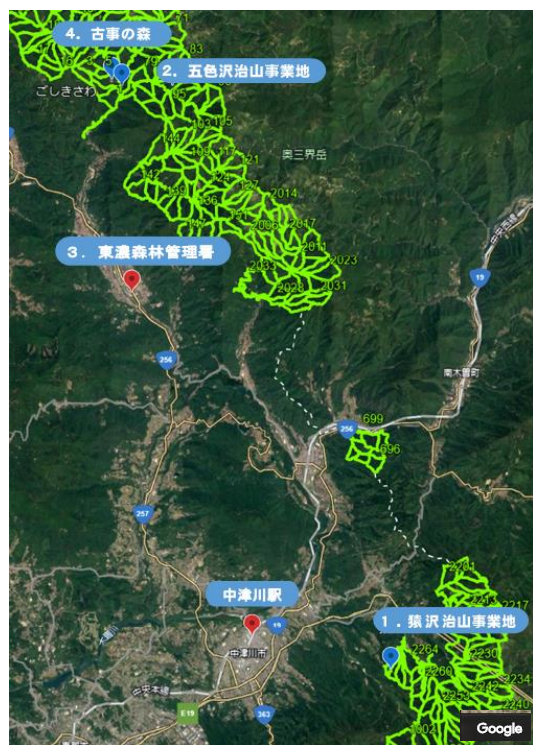
国有林見どころビューマップの説明

○4 「裏木曽古事の森」を案内

「古事の森」とは、「協定締結による国民参加の森林づくり」の一つであり、歴史的建造物の修復等に必要な木材のための森林づくりを国民参加により行う制度です。「裏木曽古事の森」では、地元の協議会との協定や活動状況について説明しました。



「裏木曽古事の森」見学



位置図

当日は、天候が不安定で、雨が強く降る場面もありましたが、担当者の説明に耳を傾けた参加者の皆様からは、「治山事業の役割や効果がよく理解でき、勉強になった」、「古事の森で育った木材の価値を知りたい」、といった質問や感想が聞かれました。

国有林モニターの皆様からいただいたご意見、ご感想を、今後の国有林野の管理経営に活かすよう努めてまいります。